

センセーショナルな話題を提供した書

『暗黒大陸中国の真実』の著者ラルフ・タウンゼントがその後発表した論文・講演記録・小冊子などを編集。

# 続 暗黒大陸中国の真実

ルーズベルト政策批判 1937-1969

ラルフ・タウンゼント (元上海・福州副領事) 著 田中秀雄・先田賢紀智訳

四六判ソフトカバー 340頁 本体 2,400円 ISBN978-4-8295-0802-2

なぜ日米関係は悪化をたどり真珠湾攻撃という破局を迎えたのか

『暗黒大陸中国の真実』出版後も、中国問題、日米関係、日中戦争についてタウンゼントは精力的に発信を続けたアジアに介入するアメリカの外交姿勢を厳しく批判し、ルーズベルト政権によって投獄されたタウンゼントの極東政策論がまとめられた一冊



中国大陸で戦争中の日中両国について戦争話は関係修復を阻害するだけである

※いずれも1937年11月のラジオ講演。アジアの戦争に対してアメリカの取るべき態度に言及。

中立に中途半端はありえない！

※1938年3月発行の小冊子。

日本はアジアでアメリカに対して門戸閉鎖をしたか？

※1938年6月のラジオ講演。

アジアにアメリカの敵はいない

※1938年9月発行の小冊子。

憎悪の高い代償

※1939年1月発行の小冊子。

国際紛争を求めて平和を望まぬ者たち

※1940年5月発行の小冊子。アメリカの国益を第一に考え、参戦を望まない孤立主義、不介入主義を主張。

真珠湾攻撃とは何だったのか

※1969年発表の論文。真珠湾攻撃を行わざるを得ない立場に日本を追い込んだルーズベルト政権を痛烈に批判。

ラルフ・タウンゼント(1900-1976)

アングロサクソン系アメリカ人。コロンビア大学卒。新聞記者、コロンビア大学英文科教師を経て国務省に入る。1931年上海副領事として中国に渡る。満州事変に伴う第一次上海事変を体験。その後福建省の副領事として赴任。1933年初めに帰国。外交官を辞め、大学講師のかたわら著述と講演活動に専念。親日派の言論を展開したため、真珠湾攻撃後は1年間投獄される。

※本書は『アメリカはアジアに介入するな』(2005年、小社刊)に新発見論文を加えた増補・改題・新編集版です

好評既刊

暗黒大陸中国の真実【新装版】 本体 2,300円

ラルフ・タウンゼント著 田中秀雄・先田賢紀智訳

「中国と中国人の本質がわかる本」「読めば読むほど今の中国と恐ろしいほど似ている」と話題となったロングセラーが新装版で再登場。併売をお願いします。

11月下旬 新刊搬入予定です

配本部数申込締切は 11月2日(月) です

FAX 03-3813-4615

芙蓉書房出版  
〒113-0033  
東京都文京区本郷3-3-13  
http://www.fuyoshobo.co.jp  
TEL. 03-3813-4466  
FAX. 03-3813-4615

発行	芙蓉書房出版	注文数	注文者
続 暗黒大陸中国の真実	【新刊】 本体 2,400円	部	
既刊	暗黒大陸中国の真実【新装版】 本体 2,300円	部	